

## グローバル連携セミナー

### SATREPS (JICA・JST 地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム)

～経験者に学ぶ採択から運営の実際～

日時：11/29 16:00～17:00 場所：学生プラザ（2F） 第2多目的ホール\*

\*生協 2F 書店の隣の部屋です

#### 1. 趣旨

SATREPS は大学の研究者が海外において大がかりな研究を実施するにあたって資金規模が大きく魅力的なスキームである。競争率が高く、採択に向けては研究内容のみならず JICA の戦略との整合性、申請において相手国への“外交努力”が必要なことは、よく知られている。長崎大学においては熱帯医学分野で SATREPS の採択事例が複数あるが、その他の部局的（水産・環境・工学）での採択実績はない。このような部局では SATREPS の申請から運営に至るまでどのような苦労があるのか、運営のための Effort がどれほど他の業務に影響しうるのかイメージができていないのが実情である。この講演は、医学以外の分野で SATREPS を獲得し、運営した経験を持つ演者を長崎大学に招聘し、SATREPS の“実際”を伝えてもらう事で、教員がより現実的な判断のもとに SATREPS 申請を行うようになることを目的とする。

#### 2. プログラム

16:00 趣旨説明

16:10 佐賀大学 海洋エネルギー研究センター、池上 康之 教授\*による講演。

\*池上教授は 2018 年採択の『マレーシアにおける革新的な海洋温度差発電（OTEC）の開発による低炭素社会のための持続可能なエネルギーシステムの構築』のトップ（PI）。

16:30 池上教授、熱研の皆川教授、研究開発推進機構の王 URA、佐賀大学の平山 URA を交えてのパネルディスカッション。会場からの質疑応答

17:00 終了

#### 3. ZOOM 中継

講演の様子は ZOOM で中継しますので、ご希望の方は

グローバル連携機構までお問い合わせください

（藤野・山浦、800-4108）。

参考：JICA の HP より、池上教授の SATREPS

▼ 環境・エネルギー（低炭素社会）



『マレーシアにおける革新的な海洋温度差発電(OTEC)の開発による低炭素社会のための持続可能なエネルギーシステムの構築』

**海洋の温度差を利用して持続可能な電力供給を実現せよ！**



研究代表者名（所属機関）	  <b>池上 康之</b> （佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 教授） 	  <b>アバカル ジャファ</b> （マレーシア工科大学 OTECセンター 教授・センター長）
国内研究機関	佐賀大学、東京大学、産業技術総合研究所	
相手国研究機関	マレーシア工科大学、マレーシア・ブトラ大、マラヤ大学、マレーシア国民大学、マレーシアトレンガヌ大学	
採択年度	平成30年度（2018年度）	
研究期間（採択時）	5年間	
相手国	マレーシア 	
研究課題の概要	<p><b>革新的な海洋温度差発電を核とした「マレーシアモデル」の開発</b></p> <p>海洋温度差発電の高いポテンシャルを有するマレーシアにおいて、革新的な海洋温度差発電（H-OTEC）の実証を行う。このハイブリッド方式のH-OTECは、従来の海洋温度差発電の課題である熱交換器のコストや防汚対策などを解決するとともに、海水の淡水化も同時に可能となるシステムとして期待されている。さらに、OTECで利用する海洋深層水を用いた複合利用形態の経済効果およびモデル構築を検討し、社会実装を目指す。</p> <p><b>新たなクリーン電力の普及と、安全な水の供給を実現！</b></p> <p>H-OTECで利用した海洋深層水は、栄養分など付加価値が高く、新しい農業や漁業、新産業創出などが可能であるため、マレーシアの地域産業に適した低炭素で持続可能な「マレーシアモデル」が構築できる。このモデルは、他のアジア、太平洋島嶼地域などに世界展開できる。</p>	

問い合わせ：グローバル連携機構 藤野・山浦 800-4108